

議第15号 平成30年度 福山市工業用水道事業会計予算について日本共産党の討論を行います。

本会計予算は、大手企業に工業用水などを提供するための事業予算です。

福山市では、工業の急速な発展で、そのための水が不足し、新たな水源開発が必要となり、河口堰の建設や八田原ダム of 拡張事業に参加した経緯があります。

工業用水道料金は、基本使用水量1 m³につき31円70銭、超過使用水量1 m³につき48円で、1991年の料金改定以来28年間、見直されておられません。

一方、上水道料金を使用する小規模事業者は、何倍もの単価の水道料金を支払って入り、不平等です。

資本力のある大企業の工業用水は受益者負担を強化し、収益増を図るべきであります。

また、河口堰は弾力開放を行い、河口堰内外の水質汚濁は改善されているとのことですが、瀬戸内海の水生植物の多様性を守るためにも、完全開放に向け、関係者との協議を進めるべきです。以上に述べた政治的比重から、反対を表明して討論といたします。